

#### 4 試験の方法、配点等

試験の程度は、大学卒業程度で行います。

##### 第1次試験（満点220点）

試験の種類(配点)	試験の内容等	解答時間
教養試験 (100点)	公務員として必要な一般的知識及び能力等について択一式による筆記試験を行います。[出題数50題]	2時間30分
専門試験 (120点)	専門的知識及び能力等について択一式による筆記試験を行います。[出題数40題]	2時間
資格加点	「行政」の受験者で、一定水準以上の英語資格を有する方については、第1次試験において10点を加点します。*注1	

\*注1 資格加点の対象となる方は、次の英語資格を有する方です。(ただし、平成14年5月18日以降に取得したものに限りません。)

実用英語技能検定	1級及び準1級
TOEIC	スコア730点以上
TOEFL	スコア550点(CBT213点)以上
国際連合公用語英語検定	特A級及びA級

該当する方は、受験申込書に必要事項を記入してください。

また、受験申込書に合格証書あるいはスコアレポートの写し1部を添付してください。

なお、第1次試験当日に合格証書あるいはスコアレポートの原本を持参してください。教養試験開始時に原本を集め、資格の確認を行います(確認ができない場合は、加点しません。)

##### 第2次試験（満点150点①又は300点②）\*注2

試験の種類(配点)	試験の内容等	解答時間
専門試験 (50点) *注3	専門的知識及び能力等について記述式による筆記試験(専門的課題)を行います。	1時間30分
論文試験 (50点)	公務員として必要な文章による表現力及び論理性などについて記述式による筆記試験(一般的課題)を行います。	1時間30分
面接試験 (100点①) (200点②) *注4	個別面接、集団面接及び集団討論による口述試験を行います。 なお、面接試験の参考とするために、適性検査を行います。	

\*注2・4 ① 「心理判定員」及び「薬剤師」の職種

② ①以外の職種

\*注3 「心理判定員」及び「薬剤師」については、専門記述試験は課しません。

第1次試験及び第2次試験の各試験科目においては、次の合格基準があり、1つの科目でも基準を満たさない場合は、総合得点の如何にかかわらず不合格となります。

<合格基準>

面接試験以外の試験：平均点又は配点の4割の点のいずれか低い点

面接試験：配点の5割の点

※ 受験申込書記載事項の真否等を確認するため、資格調査を行うことがあります。

※ 第1次試験に係る例題及び第2次試験に係る平成15年度の問題・課題については、熊本県のホームページに掲載しています。

<<http://www.pref.kumamoto.jp/>>